

平成 24 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 取締役 庄司 友彦
(TEL 03 - 6225 - 2207)

タイ洪水被害の当社グループへの影響について (第 13 報)

当社の連結子会社である Group Lease PCL (以下「GL」といいます。)における、このたびのタイ国内での洪水発生に伴う影響に関しまして、平成 24 年 2 月 7 日朝の時点で確認いたしました事項をご報告いたします。

記

1. 現在の状況

すでにタイ全土において洪水による直接的な被害は完全に収束し、今後の復興が焦点となっております。この中で、日系企業をはじめとして復興に向けた本格的な投資が再開しております。また、ユニクロが着実に店舗数を伸ばしていることにも表れておりますように、小売業、飲食店チェーンをはじめとして各種のサービス業が新たにタイ進出を果たしております。一方タイ地場資本の大手小売業も大幅な出店や改装でこれに対抗しているという状況であり、洪水にもかかわらず、タイ国内経済の発展が進んでおります。タイ経済のファンダメンタルズに加え、官民の復興需要が強く、タイ中央銀行は 2012 年における GDP の成長率を 4.9%と予想しており、好調を見込んでおります。当社といたしましては、タイはアジアにおける自動車産業、エレクトロニクス産業の集積が進んだ巨大な産業クラスターであること、陸の ASEAN における物流などの交差点にあたること、食料輸出国であることから社会の安定性などから、復興は着実に進むと考えております。

上記の基礎的な条件を考慮しますと、当社グループの事業に関わるオートバイ市場も 2012 年において年初より着実に拡大するものと予想しており、当社グループが提供するリース事業にとって追い風になると考えております。

2. 当社グループへの洪水の影響

当社グループにおいて、タイのオートバイローン事業を営みます GL は、すでにお知らせいたしました通り、洪水の影響で GL の前四半期にあたる 2011 年 10 月から 12 月期におきまして、返済金の集金、営業の停滞などに限定的ではありますが影響が生じておりました。

このうち返済金の集金につきましては、洪水の影響により、集金チャンネルとなっております、各種ショッピングセンター、コンビニエンスストア、銀行支店などの一部が営業を停止しておりました。あるいは、顧客の皆様が、集金チャンネルの場所へ到達する交通網が寸断されることで、現実的に顧

客の皆様が支払いができないといった状況が発生しておりました。

このようなことから、回収の期限が到来し未回収となる営業貸付金（以下「未回収金」といいます。）が増加傾向にありました。

一方、当社は、過去からのあらゆるリスクを加味した損失を元に保守的に試算をした貸倒引当金を計上しております。今回の洪水の影響による未回収金の増加も十分想定範囲内であり、当期において特に営業費用の増加をもたらす要因とはなりませんでした。

また、2011年12月中旬から2012年1月におきましては、上記に記載しております未回収金も、順調に回収が進んでおります。

従いまして、洪水の悪影響はあったものの、当社の従来からの貸倒引当金の範囲を超えるものではなく、当社グループの経営成績に大きな影響はございませんでした。

また、すでに未回収金の回収が始まっていることから、洪水の影響があった期間は2011年10月から12月初頭にかけての2か月半程度となり、2012年からは洪水の影響はなくなっております。

以上の結果、従来よりお知らせいたしておりましたように、当社グループの財務諸表に与える影響は限定的であったと考えております。

以 上